

2026(令和8)年度 学校経営方針

伊賀市立阿山中学校

1 教育目標

『あやま』を愛し、心豊かに、たくましく、ともに生きる生徒を育てる。

2 めざす生徒像

- ・自他の生命及び人権を大切にする生徒
- ・自ら意欲的に学び、また、互いに学び合い、課題解決能力を持つ生徒
- ・なかまとともにたくましく、目標に向かって最後までやりぬく生徒
- ・『あやま』の人とともに「地域」を大切に、国際社会に貢献できる生徒

3 本年度の重点目標

人権が大事にされる学校づくりの推進～生徒の自主活動を活性化し、自己有用感を高める～

「豊かな人間関係の構築」「安全・安心な居場所」をめざす

キーワードは・・・「学び合う集団づくり」「生徒会活動の活性化」「だれ一人取り残さない」
「小中連携・地域連携」「教職員の同僚性の涵養」「信頼される教職員」

4 経営方針

【基本的な考え方】

学校は、生徒一人ひとりが持つ夢の実現に向かって努力する場であり、それを認め合い、ともに高まり合う場である。そのためには、学校が「豊かな人間関係」を築き、「安全・安心な居場所」となる必要がある。なかまとのつながり、教職員とのつながり、さらにはまわりのおとなとのつながりが人を育てる。この「居場所」で生徒が自分らしさを発揮し、さまざまな活動の中で成就感や達成感を体得したり、実感したりできる。夢を語れる生徒、生徒の輝く未来のために、心から支援できる教職員がともに学び育つ学校をめざしていく。

また、生徒、保護者の多様な願いや思いを迅速に把握し、生徒の中学生としての力や可能性を引き出していくためには、全教職員が学校経営に積極的に参画していく必要がある。それぞれの教職員が担当する分野において同僚とのコミュニケーションを図り、家庭や地域の状況、教職員の勤務実態を踏まえた創意ある原案をつくり、全体の場で検討し、共通理解・認識の上にならって教育活動を推進していく。

【努力目標】

- ・主体的・対話的な学び合い活動を通して、学ぶ喜び、わかる楽しさが実感できる授業をつくる。
- ・教職員自身の人権感覚や感性を磨き、差別に気づき、人権を大切にする生徒の育成に努める。
- ・個々の生徒の生活背景を十分に把握しながら、自己実現を支援できる実践を推進する。
- ・合理的配慮を踏まえた適切な指導・支援・コーディネートを推進する。
- ・地域、家庭と連携し、『あやま』の良さが生きる創造的で活力のある学校づくりを推進する。
- ・保護者や学校運営協議会委員等の意見を取り入れ、創意ある学校づくり、教育活動の改善に努める。
- ・全教職員の参画により、総勤務時間の縮減を図る。

【特色ある教育とその方策】

(1) 学び合い高め合う授業を展開し、わかる楽しさを仕組みます。(学力)

- ・全ての授業で生徒の「気づき」や「つまずき」を見逃さず、学ぶ喜びを味わわせながら、主体的・対話的で深い学びにつなげる。
- ・生徒が自ら学習を調整できる効果的な「ふりかえり」につながる「めあて」の提示をおこなう。

- ・教職員が積極的に授業を開き、校外での研修会に積極的に参加し授業力向上に努める。
- ・協働的な学びを目指し、学び合いを進めていく教師集団を育成する。
- ・タブレットを有効に活用し、主体的な学びにつながる授業づくりを進め、探究的な学習をめざす。
- ・個別最適な学びの実現に向けた適切な課題を設定し、生徒の家庭学習も支援し、定着につなげる。
- ・小中連携をより一層深め、ともにメディアコントロールチャレンジ等の取組を進める。
- ・管理職は積極的に授業を参観し、教職員の指導力向上に努める。

(2) すべての生徒が、安心して学べる学校づくりをすすめる中で、小中の連携を大切に、「なかまづくり」「自分づくり」「地域づくり」を推進します。(人権)

- ・小中学校を通した系統的な人権教育カリキュラムづくりを推進する。
- ・教育的に不利な環境のもとにある生徒の課題・つきたい力について共通理解し、課題解決を図る。
- ・人権侵害の事象に見られる課題の解決を図る。
- ・合理的配慮を踏まえた適切な指導・支援・コーディネートをおこなう。(不登校・ヤングケアラーへの対応)
- ・教育相談・学習計画帳の活用等を通して生徒との関係性を構築すると共に、課題把握に努める。
- ・生徒の実態に応じたゲストティーチャーを招聘し、他者の生き方に学ぶ。
- ・校内人権集会を保護者・生徒と共に企画し、実行することで、互いに学びあう。
- ・人権サークルの活動を強化し、積極的に支援していく。
- ・伝えたいことをしっかり伝え、しっかり聞けるよう、コミュニケーション力の向上を図る。
- ・行事等の節目に、事実を思い出し直す作文指導を行い、自分を見つめさせる。
- ・生徒同士のつながりを深め、ともに学び合う活動を推進する。

(3) 「なりたい自分」をえがき、夢・目標の実現を目指します。(キャリア)

- ・人との出会いの機会を企画し、他者の生き方に学び生徒自身が「なりたい自分」像を描けるように支援する。また、読書環境を充実させ、本から学ぶ機会を増やす。
- ・生徒会活動、部活動などを自主的、自律的に運営できるよう支援する。
- ・生徒の体験活動を積極的に推進する。

(4) 『あやま』の人と共に「地域」を大切に子どもを目指します。(家庭・地域)

- ・家庭や地域社会との情報交換・連携を密にして、地域の物的、教育的資源を積極的に活用する中で、地域に開かれた学校づくりを推進する。
- ・家庭訪問、地区懇談会、学級懇談会を通して家族や地域住民の願いを知り、生徒の課題解決のための連携を強化する。
- ・学校だより、学年通信、学級通信、HP等を通して生徒の活動の様子を具体的に伝える。
- ・生徒と家族との対話、および地域活動への参画を積極的に支援する。

(5) 信頼される教職員であるために、教職員自らが心身共に健康で、意欲と向上心をもてるよう働きやすい職場環境を構築します。(教職員)

- ・「チームあやま」として職員間の対話を中心とした相互理解と研鑽を大切にする。
- ・OJTの考え方をもって実践する中で、職場全体の質を向上させる。
- ・全教職員の参画により総労働時間縮減を図りつつ、創意ある学校づくり、学校経営を進める。
- ・特定の職員が負担過剰とならないように、学年主任等を中心として勤務の平準化を図る。
- ・時間外労働時間が月45時間、年360時間を超えないように、働き方を改善する。
- ・毎週水曜日を定時退校日と設定するとともに、年休日数の15日以上取得を目指す。
- ・労働安全衛生委員会からの提言を積極的におこなっていく。
- ・校内研修会等において、コンプライアンス研修をおこない、共通認識の向上を図る。